

年間指導計画			観点別評価の評価規準		
月	単元	時間	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	世界と日本の地域構成 歴史をとらえる見方・考え方 身近な地域の歴史	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の六つの州と主な国の位置と名称や、緯度と経度のしくみを理解したり、地図帳のさくいんや統計資料を活用したりしている。</li> <li>年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国名や国旗、国境線の特徴から、その国の歴史や文化についてわかることや、さまざまな種類の世界地図の特徴を考察している。</li> <li>時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などを、時代区分との関わりなどについて考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図や地球儀に親しみ、世界の地域構成や位置の表現方法について主体的に追究しようとしている。</li> <li>歴史の表現方法や歴史的な見方・考え方といった歴史をとらえる方法を、主体的に追究しようとしている。</li> </ul>
5	日本の姿 世界の古代文明と宗教のおこり	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界のなかでの日本の位置や、日本の領域と領土をめぐる問題、日本の都道府県について理解し、世界のなかでの日本の位置を示したり、日本と各地との時差を計算し時刻を求めたりすることができる。</li> <li>古代文明の特徴や宗教の概略を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界のなかでの日本の位置や広がりや、日本と世界各国の時差、日本の領土・領域について、多面的・多角的に考察している。</li> <li>古代文明や宗教など、人類が誕生してから生み出してきたものを、環境の変化や人類の成長などと関連付けて考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界のなかでの日本の位置や広がりについて関心をもち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>世界の古代文明や宗教など人類が生み出してきたものについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>
6	世界のさまざまな地域 日本列島の誕生と大陸との交流	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界各地の人々の多様な生活と環境について、気候や地形などの自然条件と衣食住や宗教などの社会的条件を関連づけて理解している。</li> <li>様々な資料から、日本列島で狩猟・採集の生活を行っていた人々の生活の特徴について理解している。</li> <li>弥生時代の人々の生活の様子と、日本における国家形成の過程を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界各地の人々の多様な生活と環境について、自然条件や社会的条件と関連づけ、写真や地図、主題図などを活用して多面的・多角的に考察している。</li> <li>縄文時代の人々の暮らしの特徴を、当時の自然環境と関連付けて考察し、表現している。</li> <li>中国の文献などから、国家が形成されていく過程について大陸の影響に着目して考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心をもち、主体的に追究しようとしている。</li> </ul>
7	アジア州 日本列島の誕生と大陸との交流	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な自然環境や文化、産業がみられるアジア州について、地域ごとにその特色を理解し、地域間の違いからアジア州全体の地域的特色を理解している。</li> <li>日本列島で国家が誕生した経緯を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アジア州の国々が急激な経済発展をしている理由を、人口増加や他地域との結びつきなどに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>日本列島における国家の誕生について、大陸の影響と関連付けて考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>急激な人口増加と経済発展が、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題とその解決を、主体的に追究しようとしている。</li> <li>日本列島における国家形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>
9	ヨーロッパ州 古代国家の歩みと東アジア世界	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目してヨーロッパ州の地域的特色について自然環境、文化、産業の特色を大観し、自然環境や文化にみられるヨーロッパの共通性と多様性を理解している。</li> <li>聖徳太子や蘇我氏が行った国づくりの特色を理解している。</li> <li>大化の改新と、その後の律令国家への展開を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目して、EU統合の背景と課題、人々の生活に与える影響などについて、ヨーロッパ州の地域的特色と関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>聖徳太子や蘇我氏が目指した国づくりの特色について、隋との関係に着目して、その影響を受けたことを考察し、表現している。</li> <li>律令国家を目指す国内の情勢を、中国や朝鮮半島の動きと関連付けて考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他地域との比較を交えながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心をもち、地域的特色及びEU統合や文化の多様性に関わる課題を、よりよい社会の実現を視野に入れて主体的に追究しようとしている。</li> </ul>
10	アフリカ州 古代国家の歩みと東アジア世界	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>アフリカ州の人々の生活や産業の特色を理解し、アフリカ諸国とヨーロッパ諸国との文化や経済的な関係を、資料を用いながら歴史的背景を踏まえて理解している。</li> <li>律令制度による古代国家の仕組みを理解している。</li> <li>奈良時代の人々が様々な税を負担していたことを理解している。</li> <li>天平文化が国際色豊かな文化であることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>輸出品が特定の農産物や鉱産資源に偏るようになった原因を追究し、その問題点を多面的・多角的に考察し表現している。</li> <li>律令による古代国家の仕組みについて、中国の影響と関連付けて考察し、表現している。</li> <li>奈良時代の人々の生活について、税や土地制度の変化と関連付けて考察し、表現している。</li> <li>天平文化の特色について、遣唐使により大陸からの文物が多くもたらされたことと関連付けて考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパ諸国との関係やモノカルチャー経済に着目しながら、アフリカ州の地域的特色への関心を高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>
11	北アメリカ州 古代国家の歩みと東アジア世界	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界をリードし続けているアメリカ合衆国において、民族の多様性や、広大な国土を利用した農業、変化し続ける工業について理解している。</li> <li>桓武天皇の行った政治の目的、内容などについて理解している。</li> <li>10世紀に、摂関政治や土地制度など政治の在り方が変化したことを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活の様子をもとに、多面的・多角的に考察している。</li> <li>平安時代初めの政治について、支配領域の拡大や仏教の広まりなどと関連付けて考察し、表現している。</li> <li>10世紀の政治の在り方を、それまでからの変化に着目して考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化に着目しながら、それに関わる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>
12	古代国家の歩みと東アジア世界 武士の政権の成立	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮名文字の成立や文学作品などから、日本独特の国風文化の特色を理解している。</li> <li>日本がどのように律令国家を建設したかを理解している。</li> <li>武士が政権を打ち立て、社会を変化させることができるようになった理由を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国風文化の形成について、大陸の文化の影響に着目して考察し、表現している。</li> <li>日本が律令国家を建設していった過程について、大陸の影響と関連付けて考察し、表現している。</li> <li>武士が政権を打ち立て、社会を変化させることができるようになった理由について、戦乱と関連付けて考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古代の政治の変化、古代の文化と東アジアとの関わりからどのように律令国家が成立したかについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>武家政治の成立について武士が社会を動かすほどになった理由と、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>
1	南アメリカ州 ユーラシアの動きと武士の政治の展開	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた南アメリカ州の経済成長について理解するとともに、発展の一方で経済格差や環境破壊などの問題が生じていることを、本文や資料から調べ、まとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブラジルで経済成長が続いている要因と熱帯林の減少の背景を関連づけて考察し、その解決策を多面的・多角的に考察している。</li> <li>中世ユーラシアで東西のつながりが生まれた理由を、イスラム世界の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地や鉱山の開発に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と開発に伴う環境問題について主体的に追究しようとしている。</li> </ul>

			<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中世のユーラシア大陸ではヨーロッパ世界とイスラーム世界がつながっていったことを理解している。</li> <li>・モンゴルの襲来が日本に北条氏への権力集中や幕府支配の動揺という影響を与えたことを理解している。</li> </ul>	<p>や十字軍の活動と関連付けて考察し、表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モンゴルの襲来と日本への影響について、将軍と御家人との関係と関連付けて考察し、表現している。</li> </ul>	
2	オセアニア州 ユーラシアの動きと武士の政治の展開	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オセアニア州の自然環境の特色と植民地支配されていた歴史を理解し、自然環境と結びつく産業や、多文化社会による移民と先住民との共生などの地域的特色を理解している。</li> <li>・朝廷が二つに分裂した影響や、守護が新たな権限を与えられて守護大名となり、後の政治に影響を及ぼしたことを理解している。</li> <li>・日本が明、朝鮮とどのような関係を築いたか理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オセアニア州の国々が、ヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深め、多文化社会を進めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。</li> <li>・室町幕府の特徴を鎌倉幕府と比較しながら考察し、表現している。</li> <li>・日本が東アジア世界でどのような外交関係を築いたかを、貿易や交易に着目して考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>
3	地域調査のしかた ユーラシアの動きと武士の政治の展開	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域調査のしかたについて情報を適切に集めて活用し、まとめている。</li> <li>・応仁の乱後、戦国大名たちによる新しい時代が始まったことを理解している。</li> <li>・中世の日本で民衆が力をもつようになった理由を理解している。</li> <li>・中世の日本では、社会がどのように変化したかを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域調査から土地の利用や地形図を活用して、地域の地理的特徴を多面的・多角的に考察している。</li> <li>・応仁の乱による社会の変化について、分国法や城下町などを、これまでの支配の在り方との違いに着目して考察し、表現している。</li> <li>・中世の日本で民衆が力をもつようになった理由を、産業の発達や国際関係、時代背景と関連付けて考察し、表現している。</li> <li>・中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特色について資料をもとに主体的に追究しようとしている。</li> <li>・ユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>・中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>
主たる評価材料			授業観察・定期テスト・小テスト・課題	授業観察・定期テスト・小テスト・課題・発表	授業観察・課題・発表